

## 令和6年度「いわゆる「ごみ屋敷」に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

本アンケート結果は、附属機関である横浜市建築物等における不良な生活環境の解消及び発生の防止に関する審議会（※）で報告し、その意見を今後の対策推進に反映させるとともに、市職員や関係機関職員等を対象とした研修資料にも活用させていただきます。

（※）【参考 URL】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/fukushi-kaigo/chiikifukushi/yashiki/shingikai.html>

### 2 アンケートを実施した感想

Q13「近所の人のごみ出しで困っていることが分かった場合、あなたはどうしますか」の質問では、「ごみ出しを手伝う」と回答した方は約3割でしたが、周囲に「ごみ屋敷」状態の家に住んでいる人がいると回答した方（137名）に、Q10「周囲に『ごみ屋敷』状態の家に住んでいる人に対し、何か働きかけをしましたか」の質問では、「片付けを手伝った」と回答した方は約1割でした。身近にごみ出しなど日常的な困りごとを持つ人がいることを知ってもらうことが、地域の助け合いにつながり、いわゆる「ごみ屋敷」状態を防ぐことにもつながると改めて感じました。

その他意見の自由記載では、様々なご意見を記載いただき、数値からだけでは得られない貴重な情報をいただくことができました。

### 3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

自由記載欄を含め、率直なご意見を伺うことができ、大変参考になりました。

いわゆる「ごみ屋敷」の問題は、高齢者特有の問題ではなく、若い人にも起こる可能性があること、また本人だけでなく近隣住民にも影響が及ぶ地域課題の一つです。行政による取組と、地域のみなさまとの連携の両輪で、いわゆる「ごみ屋敷」対策の取組を引き続き進めていきます。

担当：健康福祉局福祉保健課、資源循環局業務課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。